

マルヤス岡崎蹴球新聞

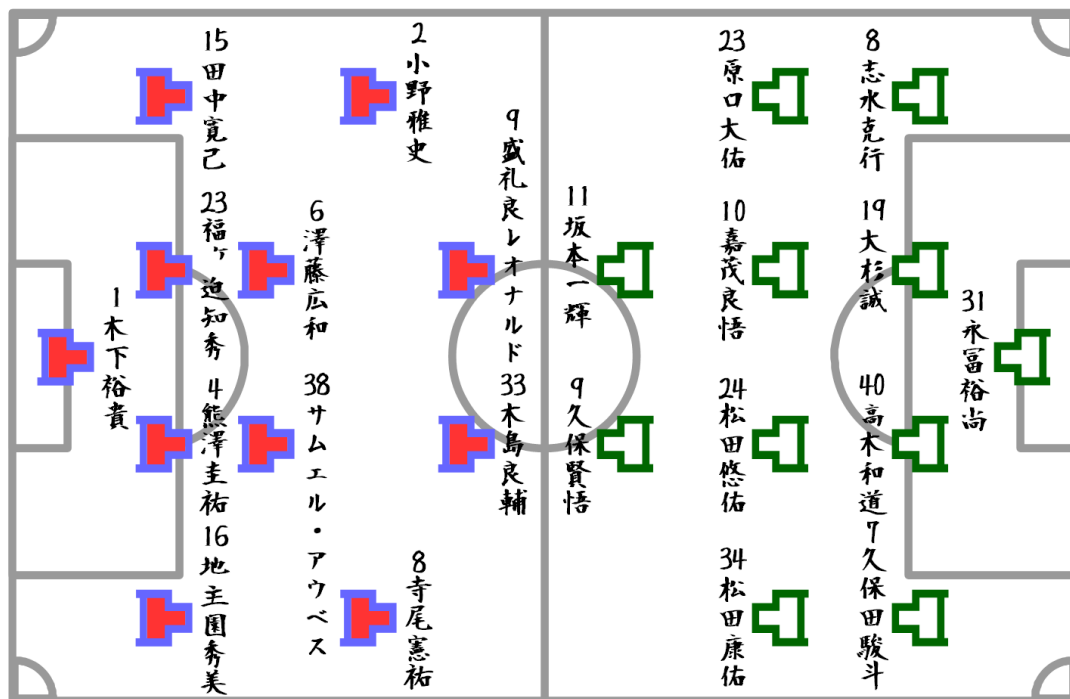
港は北村監督祭りだ！

第20回JFL セカンドステージ第11節
FCマルヤス岡崎 対 MIOびわこ滋賀



MIOびわこ滋賀

【本拠地】近江国 東近江市 【監督】中口 雅史
【2nd IS】勝ち点21 2位 【年間】勝ち点40 5位



蹴球合戦 予想布陣図 (FCマルヤス岡崎蔵)

[会場] 名古屋市港サッカー場 [ボールパーソン] 常滑高校

【試合運営へのご協力を賜り誠にありがとうございます】

FCマルヤス岡崎

【本拠地】三河国 岡崎市 【監督】北村 隆二
【2nd IS】勝ち点14 9位 【通算】勝ち点27 12位

発行人
スタジアム芸人
イケザえもん
@ikezaemon01



菊に勝利の盃を
ー今節の展望ー

願離穢土
欣求浄土

青森でのアウェイ2連戦を終えたマルヤス。まず青森との試合をスコアレスドローで終え、続く八戸戦では1対0の完封勝利を飾った。通算2位につける八戸から勝ち点3を得たのは大きな収穫。ルーキー高橋優希のザッツザブレンティな初得点、そして2試合連続完封を手土産に、約一ヶ月ぶりとなるホームゲームに臨む。

滋賀は夏からの勢いを維持。2ndステージではわずか1敗と、まさに絶好調だ。しかし、前節はロックを相手にドロー。ステージ首位のHondaとの勝ち点差は9に広がった。トップロードを目指すにはもう負けられない。残り5試合全勝を目指すし、チームの士気は高まっていることだろう。

ピッチには選手の足音、街には秋の足音が聴こえる。青雲の浮かぶ空は高く、野は菊花繚乱の様相だ。迎えるは秋、そして勝負どころ。菊に盃を添え、勝利の美酒に酔いしれるのはどちらのチームか。

MIOびわこ滋賀
チーム紹介

湖

ホームタウンは滋賀県東近江市。将来のJリーグ参入を目指している。マスコットはMIO NARI (みおなり) で、生みの親は「イナズマイレブン」で知られる宮尾佳和さんだ。霧野蘭丸きゅんのフィギュアを持っている筆者にとつて非常に魅力的。蘭丸きゅん最高！

マルヤス時間遡行

創部
五十周年

時は西暦2018年。創部50周年を迎えたFCマルヤス岡崎による新たな戦いが始まった。歴史を塗り替える使命を与えられた選手たちによつて励起された企業チーム・FCマルヤス岡崎。これは、そんなマルヤスの50年間に起きた出来事を、少しずつ振り返る物語。

2004年
東海リーグ2部優勝

西暦2004年。当時「マルヤス工業サッカー部」として活動していたマルヤスは、東海社会人サッカーリーグ2部で優勝。前年3位の雪辱を果たし、3年ぶりの1部復帰を決めた。そして、東海リーグ1部での長い戦いが幕を開けたのである。

この頃、まだ東近江市は市町村合併の前であり、現在の市域には八日市市と6つの町が存在していた。同年、その八日市市では、住民たちのある願いが実現した。市内を走る近江鉄道に、新駅「河辺の森駅」が誕生したのである。同駅は地域の要望を受けて設置された「請願駅」で、その駅名が示す通り「河辺いきもの森」の最寄り駅。120年の歴史を持つ近江鉄道にあって、かなり新しい駅だ。駅周辺にはのどかな景色が広がり、その中を15分ほど歩けば河辺いきものの森に到着。広大な敷地では、里山を通じて環境学習を行うことができる。

地元では親しみを込めて「ガチャコン電車」と呼ばれる近江鉄道。開業から120年間、地域の声を親身に聴き、地域と共に歩んできた。電車は短くても、紡いできた歴史は長い。近江鉄道のように末永く愛される、地域に根ざしたサッカーチームを目指したいものである。

本日のイベント

十三時
試合開始

【今節の〇〇は誰だ
「シュートを多く放つのは？」】

於 コンコース内
刻 十二時〜十三時

☆予想を的中された方から
1名様に賞品を贈呈！
※マルヤス勝利の場合のみ

【選手と遊ぶ企画
都道府県かるた】

於 コンコース内
刻 十二時〜十三時

【ビッグバンズバーガー
ケータリングカー出店】

於 スロープ付近
☆初出店です！

【GRASP

ダンスパフォーマンス】
於 ピッチサイド
刻 十二時四〇分

【ファイブアルファ
ダンスパフォーマンス】

於 ピッチサイド
刻 ハーフタイム

【監督・マンオブザマッチ
インタビュー】

刻 試合終了後
於 ピッチサイド
☆マルヤス勝利の場合のみ

【選手・スタッフによる
お見送り】

刻 試合終了 五分後から
十分間
於 入場口付近

【特報】
グッズショップで特売開催！

次回ホームゲーム 11月3日 日曜日 13時 試合開始

対 奈良クラブ 於 パロマ瑞穂スタジアム

公式サイト



Instagram



facebook



公式ブログ



河辺いきものの森

Moreira
Leonard

FANTASTIC PLAYER

ONO

MARUYASU